

出場選手募集

12月6日(土)に開催される市町対抗駅伝競走大会に出場する候補選手を募集します。
自薦・他薦は問いません。



対象 市民、または市内に通学・通勤の小学校5年生以上の人を基本とします。
申込み 6月17日(火)17時までに住所・氏名・連絡先・年齢(学年)・性別・職業(学校名)を明示し、電話、またはFAXで申し込みください。

【練習説明会】

とき 6月26日(木) 19時30分から
ところ あやめ会館3階多目的ホール

※申し込みをした人は必ず出席してください。(代理可)

練習会

とき 7月3日(木)から週1回程度

ところ 19時30分から 韮山運動公園多目的広場

その他 候補選手の中から、10月中旬までに練習会などのタイムを参考に登録選手20人を選考します。

《スタッフ募集》

大会や練習を手伝うスタッフも募集中
締切 6月13日(金)17時まで

静岡市役所社会教育課
TEL 055(948)1461
FAX 055(948)1470

6026・8020 コンクールのお知らせ

6月4日～6月10日は「歯と口の衛生週間」

歯周疾患検診を受けて、賞状&記念品をもらおう

60歳の人にチャンス

【6026コンクール】

対象 満60歳の人で(昭和29年4月1日～昭和30年3月31日生まれの人)で、自分の歯が26本以上ある人

80歳以上にチャンス

【いい歯のお年寄り8020コンクール】

対象 満80歳以上の人(昭和9年4月1日以前に生まれた人)で、自分の歯が20本以上ある人

静岡市役所健康づくり課
TEL 055-949-6820



応募方法

電話でお申し込みください。(自薦、他薦は問いません。)お申込み後、歯科医療機関で診察を受けていただきます。
※10月18日(土)のふれあい広場の会場で表彰式を行う予定です。

応募締切
8月11日(月)

図書館だより

今月のおすすめ ～日本の城～

城に歴史あり、ドラマあり。『城』が舞台の小説や、城の見どころ・名城の物語の本を紹介します。△=小説、▲=小説以外

■本の住所

1冊1冊の本は、図書館の中で戻る場所が決まっています。10万冊以上の中から1冊を探すためには、あるべき場所に、その本が戻っていることが大事です。6月には中央図書館がしばらく休館しますが、迷子の子の本を出さないために必要な休館です。ご了承ください。



図書館カレンダー
モバイル版QRコード

△『火天の城』

山本兼一(著) / 文藝春秋

野望に燃える信長の安土城築城を託された、天下一の棟梁父子。甲賀者の妨害、相次ぐ天災を乗り越えて挑んだ、戦国一大プロジェクト。【全館】

▲『日本100名城めぐりの旅』

萩原さちこ(著) / 学習研究社

城めぐりのスペシャリストが案内する、7つの『城の楽しみ方』。石垣や門、武将のエピソードなど、ポイントを押さえて楽しく解説する。【韮山】

△『獅子の城塞』 佐々木譲(著) / 新潮社【長岡】

△『水の城 いまだ落城せず』 風野真知雄(著) / 祥伝社【長岡】

△『古城物語』 南條範夫(著) / 富士見書房【長岡】

▲『お城のすべて』 三浦正幸(監修) / 学研パブリッシング【韮山】

▲『レンズが撮らえた幕末日本の城』 山川出版社【中央】

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/> 中央図書館 TEL 0558-76-5566 (月曜休館)

文化財通信

その108

幕末明治期の異才、宇都宮三郎と韮山反射炉(その2)

4月号掲載(その1)より続く

静岡市役所文化振興課
TEL 055-948-1428

文久元年(1861)、宇都宮三郎が尾張藩脱藩浪人から幕府の蕃書調所(文久2年に洋書調所・同3年に開成所と改称)所・同3年に開成所と改稱した背景には、勝海舟の存在があったようです。三郎の自伝『宇都宮氏経歴談』によれば、西洋砲術の修行を通じて懇意にしていた海舟の周旋で、蕃書調所頭取の古賀謹一郎に面会、五人扶持で出仕することになったといいます。

その三郎が韮山反射炉と関わることになったのは、文久3年(1863)正月、29歳の時のことでした。反射炉での鉄製大砲量産の目的が立たない中で、幕府は青銅製野戦砲100門の製造を命じます。その際、講武所から3名が反射炉に出走し、事業の推進を応援することとなりました。その中の一人が三郎(当時は宇都宮鑛之進と名乗っていた)でした。青銅砲の原材料となる銅と錫の分析担当者として派遣されたのです。

文久3年「日記」 正月2日条
(公益財団法人江川文庫蔵)

記)によれば、宇都宮ら3名は正月2日に反射炉に到着、すぐに仕事に取りかかります。

(その3に続く)